

資料－8

第7回 後志利別川流域治水協議会

第10回 後志利別川水系外減災対策協議会

流域治水・減災対策の取組について

令和8年2月26日

区分	対策内容	実施主体	施策内容と実施予定(~R12)	R7年度の実施状況	備考
氾濫をできるだけ防 ぐ・減らすための対策	後志利別川の河道掘削及び堤防強化等	函館開発建設部	・河道掘削(せたな・神丘地区)は短期で実施中 ・掘削土を活用した堤防強化、水防拠点拡幅を実施	・河道掘削(せたな・神丘地区) ・堤防強化(西丹羽地区) ・水防拠点拡幅(豊岡地区)	
	後志利別川圏域の河道掘削及び堤防整備等	渡島総合振興局 (函館建設管理部)	・河道掘削(鹹川・トンケ川)は短期で実施中 ・堤防整備等(鹹川・トンケ川)は短期で実施中	河道掘削及び堤防整備等(盛土工・護岸工)を実施 (真駒内川、トンケ川)	
	既存ダムにおける事前放流等	函館開発建設部	・美利河ダムにおける事前放流を実施中	R7年度は美利河ダムにおいて洪水調節(ダム湖への流入量が 100m ³ /s以上の出水)を2回実施。事前放流実施要件該当は無し。	
		函館開発建設部、せたな町、今金 町、土地改良区	・真駒内ダムにおける事前放流及び貯水位運用を実施中	・真駒内ダムにおいて貯水位運用を実施	
	内水による浸水被害から市街地を守るた めの内水排除対策	今金町	・排水ポンプの運用を実施中	・排水ポンプの運用を実施(今金町)	
		函館開発建設部	・出水期前に今金2号樋門に設置されている排水ポンプの試運転を今金町 と実施予定	・R7実施箇所なし	
	治山対策	渡島森林管理署	・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり効果判定業務を実施	・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり対策工事を実施	
		檜山振興局 (林務課)	・治山ダムによる土砂流出防止対策(稲穂2地区)を短期で実施中 ・山腹工による土砂崩壊防止対策(稲穂地区)を実施予定(R8~R10)	・実施中_稲穂2地区において治山ダム1基	
	森林整備	渡島森林管理署	・今金・せたな地区の国有林内で森林整備(下刈・間伐)を長期で実施	・R6実施箇所なし	
		檜山振興局 (林務課)	・北檜山地区、今金地区で毎年、植栽や間伐を実施(造林事業)	・北檜山地区、今金地区で植栽49ha、間伐45ha実施(R7年度造林事 業)	
		森林整備センター	・後志利別川流域ではR7年度の整備箇所なし (民有林所有者からの申し出により次年度以降整備の可能性あり)	・R7実施箇所なし	
	水田等の貯留活用	せたな町、今金町、 土地改良区 等	・水田等を活用した雨水貯留の可能性を中期~長期で計画	・田んぼダム勉強会を実施	
	下水道雨水管等の整備	せたな町 (建設水道課)	・真駒内川右岸第2排水区(浸水対策)を短期で実施中 雨水管φ450mm L=83m	・R7 雨水管φ450mm L=41m	
		今金町 (公営施設課)	・第19排水区(浸水対策)を短期~中期で実施中 雨水管φ450~1000mm L=880m	・R6実施箇所なし	
	農業施設整備	檜山振興局 (農村振興課)	・排水機場ポンプ更新(西兜野地区)を短期で実施。R7完了。 ・河川内頭首工の遠隔監視システムを更新。 ・幹線排水路(若松地区)の整備。	・真空ポンプ分解整備、ゲート類、その他装置類整備 ・遠隔監視システムの更新設計を実施 ・排水路の調査設計を実施	(ポンプ3台) (頭首工4か所)
被害対象を減少させ るための対策	まちづくりでの活用を視野にした多段的な 浸水リスク情報の検討	函館開発建設部	・気候変動を考慮した水害リスクマップの作成・公表を短期で実施予定	・R7.2公開版について、関係者との勉強会等にて活用	
	河川掘削土を活用した内水氾濫頻発地域 等の地盤嵩上げ	函館開発建設部	・河道掘削土の活用を検討	・発生土砂量の情報を提供	
被害の軽減、早期復 旧・復興のための対 策	まるごとまちごとハザードマップの整備促 進	函館開発建設部 せたな町(総務課)	・調査・検討を短期で実施 ・中期~長期で整備及び周知	・状況を見て検討を実施	
	被害軽減対策	函館開発建設部、函館地方気象 台、渡島総合振興局、檜山振興局、 せたな町、今金町	・流域タイムライン等の運用 等(減災対策協議会の取り組み)	・R7流域タイムライン勉強会を実施	

R3～R7後志利別川水系外の減災に関する取組方針 フォローアップ様式【後志利別川】 (1/2)

上段:方針とりまとめ時の予定
下段:着手状況

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	目標時期					これまでの取組内容	R7年度取組内容	
					R3	R4	R5	R6	R7			
ハード対策	■洪水を河川内で安全に流す対策	河道掘削	函館開発建設部	引き続き実施	■	■	■	■	■	○流下能力対策(函館開建)	掘削工事を実施 神丘地区、せたな地区	
		堤防浸透対策	函館開発建設部	完了						○浸透対策(函館開建) ○ハビリング対策(函館開建)	○完了	
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護	函館開発建設部	完了						○天端の保護(函館開建)	○完了	
		■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	函館開発建設部 函館地方気象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	○川の防災情報の充実 ○川の水位情報で危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの情報提供開始(函館開建) ○今後の雨、危険度分布等提供 ○SNSを活用した記者会見等配信(函館地方気象台)	○継続実施
			洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	函館開発建設部 函館地方気象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H30年5月～運用開始(函館開建) ○危険度分布通知サービス開始(函館地方気象台)	○継続実施
			水防資機材の充実	函館開発建設部	～令和7年度	■	■	■	■	■	○豊岡水防拠点整備(函館開建)	○根固めブロック追加購入(函館開建) ○大型土のう袋の備蓄(せたな町)
早めの情報共有による円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H29年12月(R6年2月更新)洪水ハザードマップ公表済み(せたな町) ○H30年3月洪水ハザードマップ公表済み(今金町)	○R7年4月ハザードマップ(防災ガイドマップ)更新・全戸配布(今金町)	
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	函館開建、函館地方気象台、檜山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署、狩場利別土地改良区	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H30年7月 後志利別川流域タイムライン(試行版)完成(関係機関) ○H31年1月 種川地区タイムライン検討会(関係機関)	○1月20日令和7年度後志利別川流域タイムライン勉強会の開催(関係機関)	
		各地域における避難勧告指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○マニュアル作成済み(せたな町) ○防災行政無線整備の検討(今金町) ○防災行政無線整備に伴う情報伝達内容等の検討及び職員向けマニュアル等の作成(今金町)	○随時見直し	
		要配慮者名簿の作成や緊急連絡体制、避難誘導體制の整備、地域防災計画の見直し	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○名簿作成済み(せたな町) ○保健福祉部局で要配慮者名簿を作成(今金町) ○地域防災計画の定期的な見直し(今金町)	○随時見直し	
		災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○施設管理者への指導を実施(せたな町、今金町)	○継続実施	
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	函館開発建設部 函館地方気象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H28年4月 洪水予報文の改良 ○R1年5月 防災気象情報と警戒レベルとの関係を明確化 ○大雨特別警報の警戒等への切替時の洪水への警戒呼びかけ(函館開建、気象台) ○大雨特別警報の警戒等への切り替えに合わせ、洪水予報(臨時)を発表(函館開建、気象台)	○2月13日、2月18日令和8年出水期からの新たな防災気象情報に関するWEB説明会の開催(函館気象台、函館開建)	
		大雨(浸水害)・洪水警報等の基準改正及び防災気象情報の拡充(「危険度分布」や「早期注意情報(警報級の可能性)」の提供開始)	函館地方気象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H29.5.17 警報級の可能性の提供開始 ○H29.7.4 大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布提供開始 ○H30.5.30 大雨(浸水害)・洪水警報等の基準改正 ○R1.5.29 大雨・洪水警報等の基準改正 ○R2.8.6 洪水警報・注意報の基準改正 ○R3.6.8 洪水警報・注意報の基準改正(気象台)	○継続実施 ○2月13日、2月18日令和8年出水期からの新たな防災気象情報に関するWEB説明会の開催(函館気象台、函館開建)	

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	目標時期					これまでの取組内容	R7年度取組内容	
					R3	R4	R5	R6	R7			
早めの情報共有による円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	函館開発建設部	完了						○H28.10.31 後志利別川洪水浸水想定区域公表(函館開建)		
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの作成と周知	函館開建、函館地方気象台、せたな町、今金町	完了						○H29年12月(R6年2月更新)洪水ハザードマップ公表済み(せたな町) ○H30年3月 洪水ハザードマップ公表済み(今金町)	○R7年4月ハザードマップ(防災ガイドマップ)更新・全戸配布(今金町)	
		小学生等を対象としたコンテスト形式によるポスター作成・公共施設への掲示や水防災に関する出前講座・講習会の実施、新学習指導要領に基づく防災教育について学校教育現場への支援	函館開建、函館地方気象台、檜山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○新学習指導要領に対応した防災教育の指導計画の作成支援を今金小学校で実施 ○北檜山小学校には情報共有 ○北檜山小学校、瀬棚中学校における「1日防災学校」の実施支援(各町、檜山振興局)	一日防災学校を実施 ○8月25日種川小学校 ○9月5日今金小学校(函館開建、函館地方気象台) ○7月11日瀬棚小学校 ○9月26日大成中学校(せたな町) ○今金中学校(今金町)
		関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	函館開建、函館地方気象台、檜山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H30タイムライン防災シンポジウム開催(函館開建) ○防災を考える集い開催(今金町) ○北海道防災総合訓練実施(せたな町、北海道)	○1月20日令和7年度後志利別川流域タイムライン勉強会の開催(関係機関) 檜山振興局、せたな町 ○11月1日災害時外国人対応力向上研修(檜山振興局、せたな町) ○自治会町内会連合会第1回情報共有会 ○役場職員防災研修(今金町) ○関係機関合同防災研修会(今金町、航空自衛隊)
		ホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	函館開建、函館地方気象台、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○減災対策協議会HPの開設、資料掲載(函館開建) ○eラーニング「大雨のときにどう逃げる？」を気象庁HPで提供開始(気象台)	○継続実施
避難行動に必要な時間を稼ぐための水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○重要水防箇所のリバイス作業、協同点検の実施(函館開建、関係機関)	○継続実施	
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	函館開建、渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○水防工法現地講習会の開催等(函館開建、関係機関)	○6月18日北海道地区水防技術講習会(関係機関)	
		迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○減災協議会(幹事会)において各機関の水防資機材の保管状況を情報共有	○継続実施
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員(消防団)の確保を図る	せたな・今金消防署、檜山振興局	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○リーフレットの配布やポスター掲示の実施(せたな・今金消防署、檜山振興局)	○継続実施
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	函館開建、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H30確認済み	○継続実施	
浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進		せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○ハザードマップの配布や情報共有(せたな町) ○防災ガイドマップの配布(今金町) ○H27.10月作成、H30.3月改訂(今金町)	○継続実施		
社会経済活動の早期復旧のための取り組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H30 排水作業準備計画を作成 ○R1 排水作業準備計画を協議会で情報共有(函館開建)	○随時見直し	
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○排水ポンプ車操作訓練の実施(函館開建、関係機関)	○6月26日、9月9日災害対策用機械操作訓練(函館開建、関係機関)	

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	R3	R4	R5	R6	R7	これまでの取組内容	R7年度取組内容			
ハード対策	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	堤防整備等	函館建設管理部	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	流下能力対策(函館建管)	河道掘削、盛土、護岸工事を実施 真駒内川、トンケ川		
		堤防天端の保護	函館建設管理部	完了										
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	函館建設管理部、函館地方气象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	川の防災情報の充実 川の水位情報で危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの情報提供開始(函館建管) ○今後の雨、危険度分布等提供 ○SNSを活用した記者会見等配信(函館地方气象台)	継続	
		洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	函館建設管理部、函館地方气象台	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	○H30年5月～運用開始(函館建管) ○H30年10月 配信訓練(函館建管) ○危険度分布通知サービス開始(函館地方气象台)	継続	
		高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより充実を図る。	せたな町、今金町											
		水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計等の整備	函館建設管理部	完了										
		迅速な水防活動を支援するための水防資機材備蓄施設等の整備	函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	■	継続	継続
		防災拠点施設の強化として、防災行政無線の整備や更新、防災拠点施設における自家発電機等の改良検討及び防災拠点代替施設検討	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	■	継続	継続
避難場所の明確化(避難誘導のための看板設置等)に関する取組を行う	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	■	避難場所等の看板設置済み、今後随時更新予定(せたな町)			
広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討	檜山振興局、函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	○H29年12月(R6年2月更新)洪水ハザードマップ公表済み(せたな町) ○H30年3月 洪水ハザードマップ公表済み(今金町)	継続		
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	函館開発建設部、函館地方气象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署、土地改良区	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	継続	○1月20日令和7年度後志利別川流域タイムライン勉強会の開催(関係機関)	
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報(避難判断水位の設定等)や、住民への情報伝達方法・伝達内容について役場職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	継続	継続	
		広域避難計画(近隣4町による災害時相互応援協定等)の活用を想定した具体的な検討	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	継続	継続	
		避難所マニュアルの運営訓練等	せたな町、今金町									R2年6月避難所マニュアル作成済(せたな町)		
		要配慮者利用施設における避難確保計画策定支援	檜山振興局、函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	継続	継続	

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	R3	R4	R5	R6	R7	これまでの取組内容	今後の取組内容			
広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	函館建設管理部	完了										
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの作成と周知	檜山振興局、せたな町、今金町							○H29年12月(R6年2月更新)洪水ハザードマップ公表済み(せたな町)				
		小学生等を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、せたな町、今金町、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続		
		関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育の実施	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続		
		防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続		
広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	函館建設管理部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	○重要水防箇所のリバイス作業、協同点検の実施(函館建管)	継続		
		関係機関が連携した広範囲に及ぶ浸水や急激な水位上昇を想定した水防訓練を実施	函館開発建設部、檜山振興局、函館建設管理部、せたな警察署、今金・せたな消防署、今金町、せたな町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	○水防工法現地講習会の開催等(函館開建)	継続	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団(消防団)員数の確保を図る	檜山振興局、今金消防署、せたな消防署、今金町、せたな町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続	
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	函館開発建設部、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続	
		水防団(消防団)間での連携、協力に関する事項	せたな町、今金町											
		町防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組を行う。	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続
		町向け川の防災情報による河川水位や排水設備等の情報の共有	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続
		■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	せたな町、今金町										
			大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進	せたな町、今金町										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	函館開発建設部、函館建設管理部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	○H30排水作業準備計画を作成 ○R1排水作業準備計画を協議会で情報共有(函館建管)	継続		
	訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	函館開発建設部、函館建設管理部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	○排水ポンプ車操作訓練の実施(函館開建)	継続		
	要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続	
その他	■災害対応に関する事項	災害時及び災害復旧に対する支援強化	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続		
		災害情報の共有体制の強化	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続		継続	

■河道掘削、堤防整備等の実施

・後志利別川本川の河道掘削、樹木伐採および堤防強化を実施

①河道掘削（せたな地区） 実施後



②河道掘削（神丘地区） 実施後



③堤防強化（西丹羽地区） 実施後



④樹木伐採（今金地区） 実施後



・河道掘削、樹木伐採により後志利別川本川の流下能力が向上。※出水時の河川水位が低下し、内水排除にも寄与。
・堤防の洪水に対する安全性が向上。

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備



根固めブロック(2t級) ※令和7年度末時点

備蓄場所	豊岡水防拠点	今金水防資材備蓄基地	美利河ダム資材置場
備蓄数	685個	85個	34個
合計	804個		



・水防資材を備蓄し、出水時の減災対策に備える。

■水防訓練等

・北海道地区水防技術講習会、災害対策用機械の操作訓練を実施

■北海道地区水防技術講習会



令和7年6月18日に後志利別川の今金水門上流右岸河川緑地運動公園において、水防団員の水防技術の向上及び伝承を図るため、特に技術面に主眼をおいた北海道地区水防技術講習会を開催し、消防団や災害時協定会社など87名が屋内講習、現地講習を通してと土のう製作等の水防技術を学びました。

■災害対策用機械操作訓練



令和7年6月26日、9月9日に後志利別川の豊田3号樋門において、地域防災力の向上を目的に、災害対策用機械の操作訓練を行い、機械の出動協定会社から合計21名が参加しました。また、今金町、せたな町から防災担当者3名にお越しいただき、機械の設置手順や性能、特に排水ポンプによる排水状況を間近でご覧いただきました。



・水防団による水防活動、災害協定会社の排水活動の対応能力が向上。

■防災・減災対策

・防災教育の推進(一日防災学校)

小学校で一日防災学校を開催、「洪水から身を守るための教育」の映像視聴、逃げキッドを用いた「マイ・タイムライン」の作成を実施しました。なお、令和7年度は函館地方気象台にご協力頂き、「大雨の備え」や「キキクル」の説明をしていただきました。

※教材やマイ・タイムラインに関する資料は、函館開発建設部と小学校の先生が事前に打合せを行い準備。

■開催日 令和7年8月25日(月)(種川小学校) ■参加者 3~6年生 9名(種川小学校)

令和7年9月 5日(金)(今金小学校) 4年生 33名(今金小学校)

■参加機関 主催:種川小学校、今金小学校 支援:函館地方気象台 3名、函館開発建設部 今金河川事務所 3名



「大雨に備える」の説明
(函館地方気象台)



「洪水から身を守るための教育」の映像視聴
(函館開発建設部)



マイ・タイムラインの作成
(函館開発建設部、函館地方気象台)



・防災教育の推進により防災意識、対応能力が向上。

■河道掘削、堤防整備等の実施

・真駒内川、トンケ川において河道掘削及び堤防整備等(盛土工・護岸工)を実施

■河道掘削・盛土工・護岸工（真駒内川）



■河道掘削・盛土工・護岸工（トンケ川）



・河道掘削、護岸工により後志利別川支川の流下能力が向上。

■ 治山対策、森林整備および農業施設整備の実施

- ・ 治山対策は、稲穂2地区において溪間工(治山ダム)2基の施工(R6実施、R7実施中)
- ・ 森林整備は北檜山地区、今金地区で毎年、植栽や間伐を実施(造林事業)
- ・ 農業施設整備は、西兜野地区の更新工事を実施。

■ 治山対策

着手前



現在、実施中



流域内で実施した治山ダム

■ 森林整備(北檜山地区、今金地区)

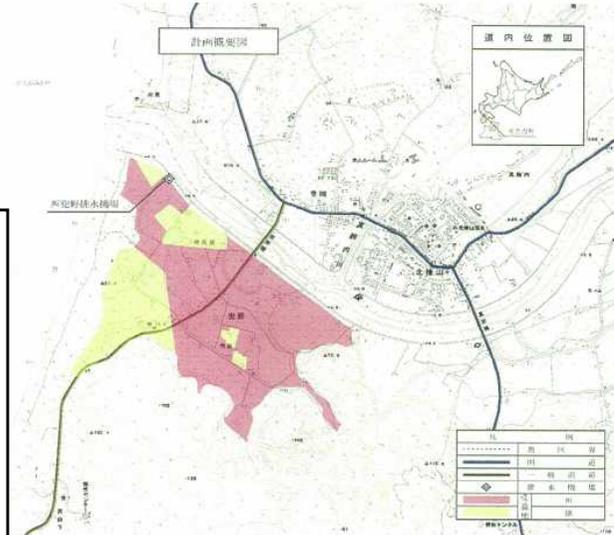


植栽49ha



間伐45ha

■ 農業施設整備



施設整備計画

機械設備 横軸斜流ポンプΦ400、Φ1000×2台、
ディーゼルエンジン170PS×2台

電気設備 中央監視操作盤、動力引込盤、
電灯照明引込盤、動力制御盤

土木工事

(R7工事)

真空ポンプ分解整備
ゲート類及びその他装置類整備



西兜野排水機場の更新整備(建屋補修、排水ポンプ更新)

- ・ 治山対策、森林整備により山地災害から流域を保全。
- ・ 排水機場の更新整備により、豪雨時の内水排除を確実に実施。

■防災・減災対策の実施

・1日防災学校及び災害時外国人対応力向上研修の実施、水防資材の整備強化

防災教育の推進

○一日防災学校



・市内の小中学校において、避難所生活体験や過去の災害から学ぶ防災活動をテーマに講話を行いました。

※実施日、対象学校・学年、参加人数
・7/11 瀬棚小学校 3年～6年 18人
・9/26 大成中学校 全学年 10人

○災害時外国人対応力向上研修



・檜山振興局と協力をし、せたな町、今金町在住の外国人を対象に災害時の避難行動の講話や避難所体験を実施

※実施日、開催場所、参加人数
・11/1 せたな町役場 35人
(ミャンマー、インドネシア、ネパール、中国)

水防資材の整備強化

○大型土のう袋の備蓄



・水害時の応急対応等のため、大型土のう袋200枚を購入し除雪センター(役場隣接)に備蓄をした。



・防災教育の推進により防災意識、対応能力が向上
・水防資材の整備強化により水害時対応力が向上

令和7年度 今金町の取組み

後志利別川流域治水協議会
後志利別川水系外減災対策協議会

■内水排除対策

・大雨災害による内水排除対策として、5月頃～11月頃まで排水ポンプや発電機の常備設置をしています。

今金2号樋門



豊田3号樋門



一日防災学校



・今金中学校では、能登半島地震支援活動者による講話や避難訓練などがおこなわれ、種川・今金小学校では、防災パネル展示や防災かるたをおこなうなど、防災への理解を深めて頂き、他にも災害救助用炊飯袋を使用して米を炊き試食して頂くなど、災害から身を守るための知識などについて学びました。

役場職員防災研修



・防災士から、町職員における災害時の対応についてなどの講話や、今金町備蓄庫にて、災害対応用の備品の組立て方法や使用方法について学びました。

■被害軽減対策

関係機関合同防災研修会

・今金町民センターにて各町内会長、連合自治会長、自治会長、地域の自主防災組織の役員、民生委員児童委員などが集まり「関係機関合同防災研修会」が開催され、延べ113名が参加しました。

自衛隊函館地方協力本部今金地域事務所長から「自然災害支援を通じて感じたこと」、北海道防災士会道南ブロック防災士から「いざという時の備えと地域の支え合い」と題した講演をして頂き、あわせて、航空自衛隊八雲分屯基地自衛隊員、日赤奉仕団による炊き出し訓練もあり、最後に参加者全員で試食会をおこないました。



総合文化祭

・今金町総合文化祭(展示部門)が、10月25～26日に総合体育館を会場に開催されました。

総合体育館では作品展示及びパネル掲示などがあり、防災関係についても実際に備蓄している非常食の無償提供や避難所用テントを展示し、啓蒙活動を行いました。



- ・出水期に常備排水ポンプ等を設置し、内水排除対策を推進。
- ・防災教育、防災研修の実施により防災意識、対応能力が向上。

■後志利別川 清流まつり

- ・全国一級河川水質調査「水質が最も良好な河川」に通算24回(全国最多)選出されている後志利別川をPRし、多くの人に歴史ある清流に触れてもらうことを目的として、令和7年8月9日に「第2回後志利別川清流まつり」を開催。推定300人が来場した。
- ・イベントでは、アユ釣り体験、ヤマメすくい、アユの塩焼き販売、砂金堀り体験などを通して川に親しんでもらう催しのほかにも、治水事業や美利河ダム等のパネル展示コーナーも設け、防災にも関心をもってもらう取り組みを実施。



まつりのチラシ



まつり会場のデ・モーレン広場



ヤマメすくい体験



砂金掘り体験



後志利別川でのアユ釣り体験



鮎塩焼き販売コーナー



河川事業等パネルコーナー



・後志利別川に親しむイベントを実施。河川への関心を高め、防災意識の向上にも寄与。

■内外水リスクマップを活用した防災ガイドマップの作成

・後志利別川の最新の内外水統合型リスクマップ(令和7年2月21日公表)を活用し、町の防災ガイドマップを作成し、令和7年4月に全戸配布を実施しました。



■防災ガイドマップを活用した取組み

・内外水リスクを踏まえた新たな町の防災ガイドマップを用いて、防災意識の向上を図る取組みを実施。

自治会町内会連合会 第1回情報共有会

・R7年6月19日、防災ガイドマップを活用し、地域の災害危険箇所を確認し、災害に対する課題など情報交換を実施しました。



すくすく親子広場

・R7年8月26日、社会福祉協議会の構成員を対象に、防災ガイドマップを活用し、地域の災害危険箇所、避難所等の確認を行い、防災意識の向上を図りました。



役場職員研修

・R7年7月25日、防災ガイドマップを活用し浸水リスクの再確認し、災害時の資機材活用や自主防災組織の支援について知識の習得を行いました。



自治会町内会連合会 第2回情報共有会

・R7年11月9日、北海道防災士会道南ブロックの防災士より、防災ガイドマップの内容を説明し、防災意識の向上を図りました。



・内外水リスクを踏まえた新たな防災ガイドマップを作成し、防災教育、防災研修を実施したことにより、防災意識、対応能力が向上。

■ 治山対策及び森林整備の実施

- ・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり効果判定業務を実施。
- ・今金・せたな地区の国有林内で森林整備事業(主間伐、下刈等)を実施。

■ 地すべり効果判定業務



ピリカスキー場遠景・保全対象等



地すべり対策工事(令和6年度施工)



地すべり効果判定業務

地すべり効果判定業務を実施。

■ 保安林整備事業



下刈作業中



下刈作業後

■ 森林整備事業



間伐地状況



間伐作業

今金・せたな地区の国有林内で森林整備(下刈・間伐)を長期で実施。

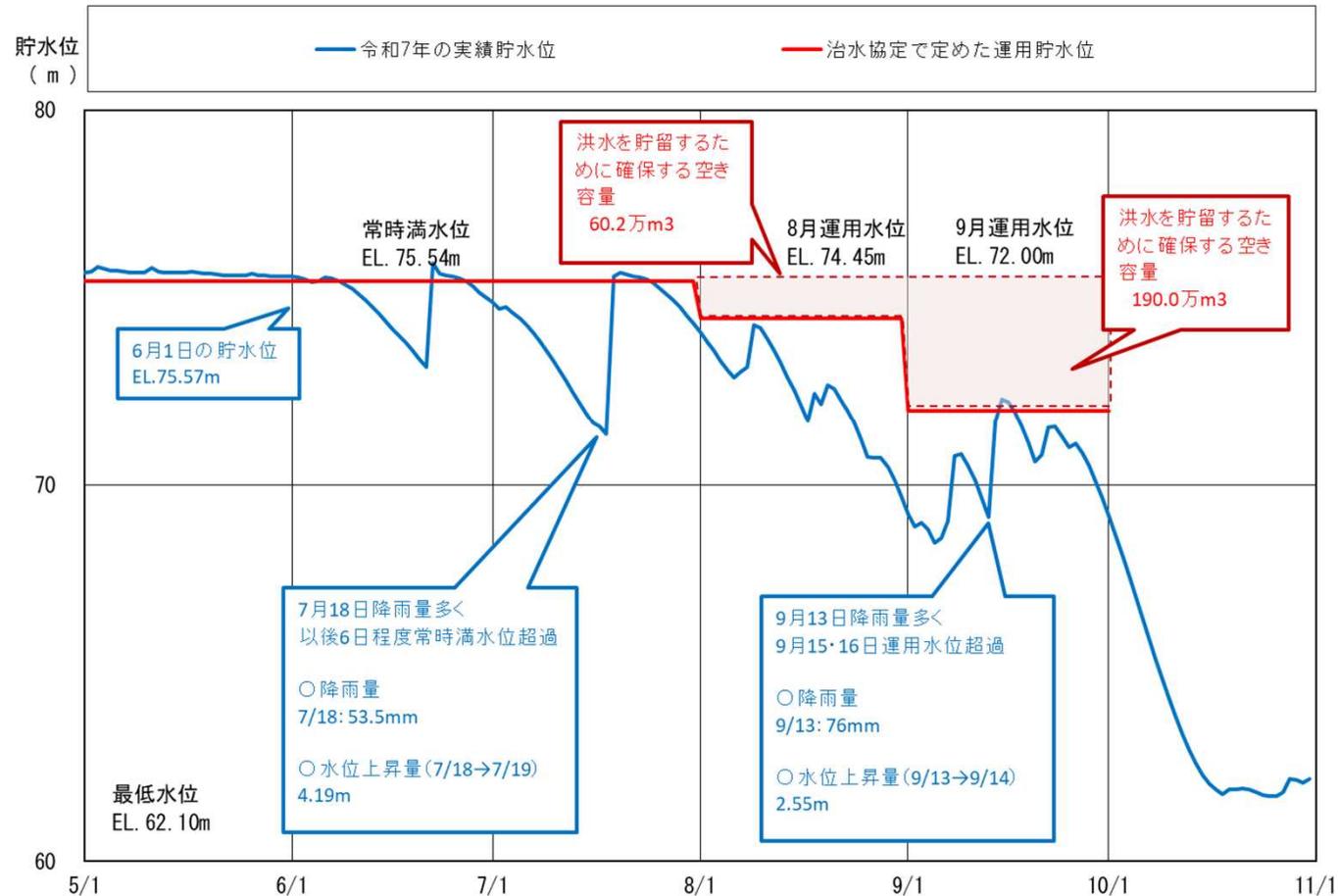


- ・治山対策により土砂災害から地域を保全。
- ・保安林整備、森林整備により山地災害から地域を保全。

■ 治水協定に基づく事前放流等の実施

- ・後志利別川水系治水協定(令和2年5月29日締結)に基づき、真駒内ダムにおいて洪水を貯留するために水位を低下させた状態とする「貯水位運用」を実施した。
- ・令和7年は7月・9月中旬にかけてまとまった降雨を観測し、常時満水位を超過する期間もあったが、治水協定で定めた運用により氾濫の危険を未然に防止することができた。

令和7年 真駒内ダム 貯水位運用



・治水協定に基づく貯水位運用を実施し、水位が低い期間に洪水を貯留し、氾濫の危険を未然に防止。

■ 函館開発建設部とのさらなる連携強化

◎ 指定河川洪水予報演習の実施

指定河川洪水予報のより確実な運用や、若手職員の操作習熟を目的とし、7月末に演習を実施。



◎ 合同勉強会開催

大規模自然災害時の対応、若手をはじめとする職員の技術力向上を図るため、函館開発建設部の河川部門（工務課・今金河川事務所・美利河ダム管理支所）と当台との合同勉強会を開催。



◎ 一日防災学校の実施

函館開発建設部今金河川事務所と連携し、今金町内の小学校において、講話を実施。



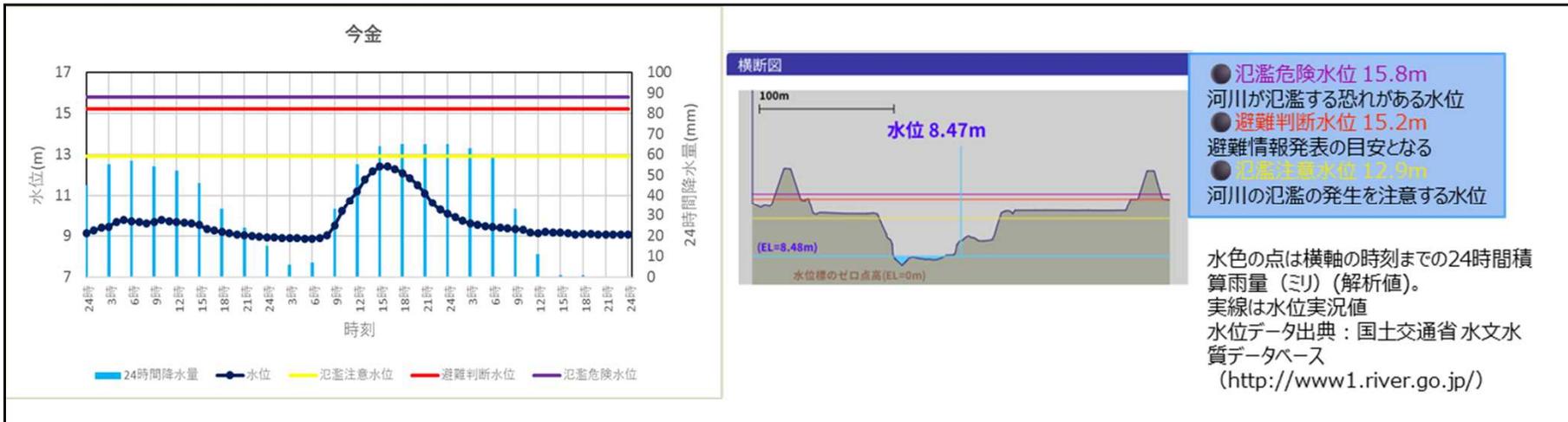
令和7年度 流域治水の取組み（函館地方気象台）

■ 流域平均雨量※を用いた気象解説への取組み

※流域平均雨量：ある地点の上流域に降った（これから降る）雨を、流域内で平均したもの。

- 流域平均雨量と水位、水害との対応を調査（R4年度～）
- 流域平均雨量予測値を用いた地域防災支援の方策を検討中

≪2024年7月28日～ 29日の事例≫



■ 河川氾濫等に関する情報の改善（令和8年5月下旬～）にかかる周知広報

- 気象庁ホームページに掲載の他、自治体等関係機関に対し、説明。
- 運用開始に向け、今後も引き続き説明予定。

● 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報**とし、これを一般向けの警報扱いとする。これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。

● 水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進する。

● 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。**洪水予報河川以外の河川についても大雨に関する情報の中で一緒に扱う。**

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等		
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、 警戒レベルとの関係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	—	
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			当面は、大雨に関する情報でも扱う。 〔洪水予報河川への移行を促進〕	気象台
発表単位	河川ごと				レベル5 大雨特別警報
対象とする主な現象	外水氾濫				レベル4 大雨危険警報
発表指標	水位（実測・予測）				レベル3 大雨警報
情報名称	5	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報		
	4	レベル1 早期注意情報	早期注意情報		

■被害軽減対策の実施

・流域治水チラシ・パネルの作成(今金町総合文化祭で掲示・配布)

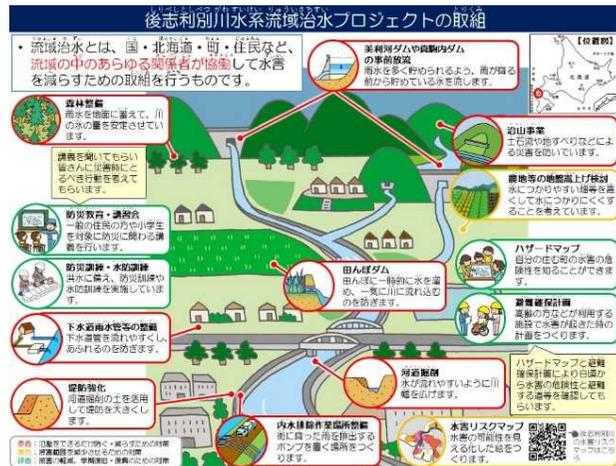
■流域治水チラシの作成



■流域治水パネルの作成



■流域治水こども向けチラシの作成



■流域治水ポスターの作成



・チラシ、ポスターによる啓発により、水災害の自分事化に寄与。

■後志利別川流域 田んぼダム勉強会の実施

・流域関係者を対象に、「田んぼダム勉強会」を実施。

■現地視察状況（田んぼ）



■現地視察状況（田んぼ）



■座学の開催状況



■寒地土木研究所による発表状況



・令和7年10月20日に流域治水対策の田んぼダムについて理解を深めるため、寒地土木研究所 寒地河川チーム、水利基盤チームを講師に招き「田んぼダム勉強会」を実施。

・せたな町、今金町、函館建設管理部、檜山振興局、土地改良区、函館開発建設の担当者23名が参加し、田んぼダムの仕組みや効果について理解を深めた。



・ダムの施設見学、防災操作の学習により、水災害の自分事化に寄与。